

(SDS)

作成日 2019 年 6 月 23 日

改定日 2021 年 9 月 20 日

1、製品及び会社情報

製品名称 FXN-111-S7SUC-V-0
製品番号 (SDS NO) : FXN_111-S7SUC-V-0_GVV
推奨用途 ホルムアルデヒド吸着剤
殺ウイルス剤
会社名 グラフトン株式会社
住所 東京都世田谷区用賀 4-11-14-3F
電話番号 03-6413-4766
FAX番号 03-6413-4737

2、危険有害性の分類

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性／刺激性 区分2

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分2A

水生環境有害性（長期間）：区分 3

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語危険

皮膚刺激

強い眼刺激

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【安全対策】 吸入しないこと。

環境への放出を避けること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。

保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。

- 【応急措置】 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
皮膚（又は髪）に付着した場合、直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。
皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと/取り除くこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯/汚染の除去をすること。
直ちに医師に連絡すること。
- 【保管】 換気の良い場所で保管すること。冷暗所に置くこと。
施錠して保管すること。
- 【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3、組成、成分情報

成分	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS NO	含有量 (%)
尿素	2-1732	57-13-6	<40
アミノ化合物	非開示	非開示	<5
トレハロース	8-50	6138-23-4	<3
イオン交換水	該当しない	7732-18-5	<60
他			<2.5

4、応急措置

- 吸入した場合：蒸気、ガスを吸入して、気分が悪くなった場合は、直ちに空気の清浄場所へ移動させて、安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合：清浄な水で最低 15 分間洗浄したのち直ちに眼科医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合：付着した衣服、靴をぬぎ、大量の水または微温湯で洗い流した後、石鹼水にてよく洗う。異常を感じた場合は直ちに医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合：清浄な水で口の中を洗浄し、指を喉の奥にいれ嘔吐させ、直ちに医師の手当てをうける。
- 応急措置をする者の保護：救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
- 医師に対する特別注意事項：医学的な経過観察が必要。

5、火災時の措置

- 特定の消火方法： このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。燃焼の際は火元への燃焼元を断ち、消火剤を使用して消火する。
- 消火剤： 水、泡消火剤、粉末消火剤が有効。
- 消火を行う者の保護： 消火作業の際は、必ず適切な保護具を着用する。

6、漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 暴露防止の為、保護具を着用して作業を行い、皮膚への接触を防止する。
- 保護具及び緊急時措置： 漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。十分に換気を行う。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項： 公共用水域、河川、湖沼へ流入しないように注意する。
流入した場合は、必要に応じ、警察署・消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協等に直ちに連絡を取る。
- 除去方法： 少量の場合はウエス等で拭き取る。
大量の場合は漏出液を密閉のできる容器にできる限り集め、残留液を土、砂、ケイソウ土、おがくず等の不活性吸収剤に吸着させ、回収する。

7、取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

- 技術的対策： 取扱いは換気のよい場所で行う。
適切な保護具を着用する。
漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。
熱、火花、裸火、高温体などの着火源から遠ざけること。禁煙。
静電気対策を行う。
設備などは防爆型を用いる。
取扱い後は手や顔などをよく洗う。
- 注意事項： 蒸気やエアゾールが発生する場合には換気、局所排気を用いる。
- 安全取扱い注意事項： 皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

【保管】

- 適切な保管条件： 容器を密栓して凍結、直射日光を避け、屋内で保管すること。
保管時の温度は5℃以下あるいは40℃以上とならな

いようにする。

湿気を避ける。

施錠して保管する。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

避けるべき保管条件： 湿気， 空気

安全な容器包装材料： 法令の定めるところに従う。

8、暴露防止及び保護措置

【設 備 対 策】：

局所もしくは全体排気装置を設置した場所で行うことが好ましい。

【管 理 濃 度 ・ 許 容 濃 度】：

管理濃度：未設定

許容濃度：未設定

【保護具】

呼吸用の保護具：防毒マスク

手 の 保 護 具：不浸透の手袋

目 の 保 護 具：保護眼帯（ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具：保護靴、長袖作業衣等

9、物理的及び化学的性質

【物理的状态】

形状：液体

色：透明

PH：<2.0~4.7

粘度：1.0~10.0 mPa・s (20°C)

【物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲】

沸点：約 100°C

融点：約 0°C

引火点：データ無し

溶解性：水に溶解

10、安定性及び反応性

安 定 性：通常の取り扱い条件においては安定

反 応 性：反応性なし

危険有害な分解性成物：燃焼などによりCO、NO等の有害ガスを発生する恐れがある。

11、有害性情報

急性毒性：データがないため分類できない

慢性毒性：データがないため分類できない

感 作 性：データがないため分類できない

12、環境影響情報

分解性：データがないため分類できない
蓄積性：データがないため分類できない
魚毒性：データがないため分類できない

13、廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に、内容を明確にして、処置を委託する。洗浄水等の廃液は凝集沈殿、活性汚濁などで処理することが出来る。その他、水質汚濁法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の定めるところに従う。

包装容器を廃棄するときは、産業廃棄物として処理又は回収にまわす。

14、輸送上の注意

国内規制（適用法令）

陸上規制：特段の規制なし（非危険物）

海上規制：特段の規制なし（非危険物）

航空規制：特段の規制なし（非危険物）

国連番号：非該当

国連分類：非該当

品名：非該当

海洋汚染物質：非該当

特別の安全対策：輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。

15 適用法令

労働安全衛生法：非該当

毒物及び劇物取締法：非該当

消防法：非該当

化学物質管理促進法 (PRTR 法)：非該当

船舶安全法：非該当

航空法：非該当

16、その他の情報

【参考資料】：

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
GHS 分類結果データベース	nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHS モデル MSDS 情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。